



新連載
#1

ラグジュアリーツーリズムの現在地

小社は2019年より、インバウンドとアウトバンド双方のラグジュアリーツーリズムに特化した旅行事業とメディア事業を展開する国際メディア事業部『TARO』を設立。TARO事業は、海外ブランドの日本市場参入や国内企業の海外進出におけるマーケティング・広報からブランディング、プロモーションまでのサポートを提供する。また、TAROは、ILTM APAC・Cannes及びFurther Eastの公式日本メディアパートナーとして任命されており、メディアパートナーとして日本国内の富裕層旅行コンテンツの国際発信力の強化、日本における富裕層旅行業界の活性化に貢献し、国内外へ各種サービスの提供を目指す。連載1回目は、TARO編集長の金納ななえが、最新のツーリズムイベントと識者のインタビューをもとに、近年話題のFurther EastやPureの主催者This is Beyond.の仕掛けるラグジュアリートラベルショーの真の魅力に迫る。

文：TARO編集長 金納ななえ

ラグジュアリー旅行の 新時代を切り開く Further East 2024

アジア太平洋地域における「体験型に特化した」ラグジュアリー・トラベルの決定版であるFurther East。今年も11月4日から7日までの4日間にわたり、業界最高峰の関係者が一堂に集まり、世界で最もエキサイティングな市場を形作るのに貢献する。

Further Eastは、2018年にスタート以来バリ・セミニャックのビーチフロントで開催されている。このイベン

トは単なるsustainable tourism（持続可能な観光）ではなく、regenerative tourism（再生型の観光）をどのように利用し、今後数十年にわたって観光客を引きつけ、地域社会に力を与えるかに焦点を当てる。

主催者のディス・イズ・ビヨンド（This is Beyond.）は、PURE Life Experiences、L.E/Miami、We Are Africaなど、物質的な豊かさより精神的なつながりを重視する体験型の旅行コンセプトを軸に、どれも社会的意義を持つ斬新なラグジュアリー・トラベルショーであり、地域ごとに業界に携

わる者達に投げかける疑問のキュレーターを務めている。Further Eastのプログラムも、参加者にリジェネラティブ・トラベルの可能性を再認識させるべく、APAC地域からの出展者のみが参加できる。

This is Beyond.の創設者兼CEOであるセルジュ・ダイブ氏は、「この地球上のあらゆる地域から参加するトップバイヤーやメディアと出展者をつなげるFurther Eastは、アジア太平洋地域にすべての人を呼び寄せ、これらの文化が持つ非凡な魅力を伝えることができる格好の機会です。私たちは、リ

スクテイカーとチェンジメイカーのみを選びます」と説明する。「アジア太平洋地域は、地球上のどこよりも多くのラグジュアリーホテルが毎年オープンしていますし、その多くがバリで開業しています。バイヤーは、ここで真のオリジナリティに出会えることを知っています」。

さまざまなネットワーキングのチャンスに溢れるショーでは、事前予約制のアポイントメントをはじめ、サンセットドリンク、5つ星ダイニング、毎晩行われる楽しいテーマのイベントの他に、熱帯の暑さの中で充電するのに十分な時間も確保されている。ダイブ氏は語る、「私たちは、生涯続く Further East-er 同士の絆を一生続くものにすることを目指しています。彼らにインスピレーションを与え、可能性に没頭してもらいます。それは東洋の伝統の一部であり、アイデアや瞬間を共有することで、人々の距離感を縮めます。世の中は常に変化しており、支え合うことは必然的ですからね」。

2024年11月4日から7日までの4日間開催の Further East 2024 の募集は、開始されています。

<https://furthereast.com/>

現在、Further East 2024 の出展スペースは半数以上が確定しています。またバイヤーとプレス申し込みも開始されています。今年はさらに多くの関心が寄せられるものと思われそうですので、ご興味のあるかたはお早めにお申

し込み下さい。

<https://www.furthereast.co/buyers/>

Hoteres-TARO は、Further East の日本オフィシャルメディアを務めています。この件に関するお問合せは、info@clubtaro.com まで。

Further East 2023 テーマは、 Right Here. Right Now. イベント・データ

2023年で4年目となる Further East (FE) は、オーストラレーシアの旅行市場の回復に伴い、参加者数が30%増加し、165の出展ブース(うち75%がリピーター)、185の海外バイヤー(うち40%が新規参加)を迎えた。参加者の声をまとめると、

- ・93%のバイヤーが友人や同僚にFEを推薦する
- ・95%のバイヤーが来年も参加を希望
- ・100%のバイヤーが、FEへの参加を「重要」または「非常に重要」と述べた
- ・90%の出展者が、FEに参加のトラベルデザイナーの品質を「高い」または「非常に高い」と評価
- ・97%の出展者が、FEへの出展が「重要」または「非常に重要」と述べた

また、2022年の成功を踏まえ、Further East 2023 は、Nihi Sumba リゾート共催による Further East リゾートシップ・サミットという新たな要素を取り入れた。11月10日から13

日までの3日間、このサミットに招待されたのは10人のみ、そのうち8人はアジア太平洋地域で最も影響力のある旅行業界のリーダーたちだった。閉ざされた超一流の人々の空間で彼らは、この地域の旅行の未来を形作るアイデアについて話し合った。生み出されたアイデアは、2024年の早い時期に、より広い Further Easter コミュニティと共有される予定だ。

メディア向けの体験から ... バンブーインダーで、 バリの自然の美しさに触れる

Further East の見どころの一つにクリエイティブな体験があるが、今回はバンブーインダー (Bambu Indah) の創設者でありビジョナリーのジョンとシンシア・ハーディと一緒に、驚くべきツアーを体験した。リゾートの美しくしなやかなバンブー建築に囲まれた魅惑的な世界が我々メディアグループを待っていた。

バンブーインダーの自然なプールで心地よい時間を過ごし、自然と調和するひとときを楽しんだ後は、地元で採れたオーガニックな食材を提供するリバー・ワルンでの素晴らしいランチを堪能した。この食の体験は、バンブーインダーが地域の豊かな遺産を守り、地球との絆を深めることに真摯に取り組んでいる証だと思えた。

ツアーが終わる際にジョン・ハーディから、持続可能な実践がもたらす





変革の力についての深い洞察を得ることができ、私自身の地球への責任について考えるきっかけとなった。

Interview from FE 2023

This is Beyond. の創設者兼 CEO セルジュ・ダイブ氏と Further East のイベントマネージャーソフィア・アスガール氏に話を聞いた。

Nana まず、This is Beyond. について教えて下さい。

Serge 私たちの会社は 14 年前に誕生し、業界の変化意欲をインスパイアする刺激的なコミュニティを創り上げて来ました。その過程で、私たちは旅行業界がさまざまなカテゴリに分かれていることに気づきました。

過去には、とても良いショーとなる ILTM を立ち上げました。その際、業界にはもっとブティックな小規模イベントも必要であり、参加者が異なるエコシステムを持ち、世界に対して異なる

視点を持てる空間が必要だと気づきました。それが、私たちのビジョンとなりました。私たちの活動はすべて、コミュニティ創造に貢献することだと思っています。

そのためには、まずそれぞれの信念体系を作る必要があります。立ち上げるそれぞれのショーにおいて、私たちが行なっていることは各地域のマーケットプレイスを確立する以上のもので、より良い人々を育み、人々に与えることを基盤とした、経済的な独立を目指すムーブメントを創り上げているのです。

現在、私たちは 7 つのショーを運営しており、それぞれが各分野でマーケットリーダーですが、私たちは自分たちをチャレンジャーだと認識しています。私たちの役割は、常に現状に問いかけ、既存概念に挑戦し、何をやるにしても、他とはまったく異なるフォーマットを提供することです。

Nana では、日本の読者にも馴染みのある Pure と Further East について、それぞれの主な特徴を教えてください。

Serge Pure は、人生を変えることをテーマにしています。ハッシュタグの #changeworlds は、参加者の人生を変えるだけでなく、ホスピタリティを通じて現地の人々の人生をも変えることを目的としています。

そして、流動を変え、流れを変えること。Pure が目指すのは、expansion travel (自己拡張の旅) -- 文化的、肉体的、精神的な経験をすることで、人生の道筋を大きく変え、世界や愛する人たちとのつながりを深めることができる旅。Pure のエコシステムは、世界やその人々を高めようとするムーブメントとも言えます。

その一方で、Further East はまったく異なるシステムです。Further East は、オーストラレーシアの最高のものを称えるショーであり、西洋社会が思い込んでいるアジアという束縛から解放される場を提供しています。

瞑想、スパ、健康的な食事、群落の保護などは、歴史的にも APAC 地域に非常に多く存在しています。これらのコンセプトを欧米諸国は真似ていますが、そもそもアジアやオーストラレーシアの持つ独自のホスピタリティの一環として Further East では称えています。

Further East を、オーストラレーシアの最高のプレミアム体験を讃える場にしたいのです。私たちはホスピタリティこそが幸せなビジネスだと信じていますので、とてもカジュアルなスタイルで。つまり、カタチにはまらずスーツを脱ぎ捨て、人々に楽しい時間を提供することに没頭するために皆で集まることを祝うのです。

それには、現代的でありながら伝統的な感覚も併せ持つ場所が必須でした。私たちは今までとはまったく異なる旅行見本市を開催したいと思い、ビーチからできるだけ近く、裸足が心地良い空間を演出します。

Further East のフォーマットは非常にユニークで、ビーチを靴を履いたまま歩いてもよし、裸足でもよしととてもリラックスして移動する場所です。このリラックスした感覚が他人との境界線を崩すこととなり気軽な出会いへとつながる。私たちは、顧客とバイヤーの間に恋に落ちる機会を作りました。彼らはここに来てリラックスし、まわりの素晴らしい環境を感じとり、ここでの出会いはうまくいけば長い間友情をもたらしてくれることを願っています。

これが私たちの仕事の最も重要なポイントです。私たちはよく、競合他社はマーケット・クリエイターだと延べますが、その延長線にはコンテキスト・クリエイターという、友情を促進する役割があると思っています。

Nana さて、いつもながら Further East 2023 も素晴らしいショーでした！今年のショーの一番のポイントは。

Sophia 先ほどセルジュが触れたように、今年のテーマの「Right here. Right now. (今ここにある)」で、オーストラレーシアは、きっと日本と同じように、多くの現代性と伝統が共存していて、いい意味でぶつかり合うことで新しいものが生まれている地域。それを受け止めている業界が前向きに進んでいることを称えるものです。今年のメッセージは、参加者に今この瞬間を掴んで、この空間を味わい、ここでの出会いや成果を糧に、この地域の未来への気遣いを忘れないようにと強く訴えています。

Nana 初日の OPEN HOUSE で、注目すべき点は。

Sophia 毎年、私たちは業界に携わるトップリーダーたちを集めてパネルディスカッションを開いています。事

前にそのコミュニティの意見を取り入れた内容がトピックスです。今回のショーでは、逆記者会見を試みました。人々が報道陣に悲痛な質問をすることを奨励しました！（笑）

次に、私たちが学ぶことの多い地元のリーダー核、ポテトヘッドの代表ロナルド・アキリが、リゾート内でも促進している持続可能性について語りました。また、現在、業界の大きな部分を占めているインフルエンサーマーケティングの中でも相互尊重の重要性について議論しました。この他にも、AI と業界内での活用方法についてのトピックも取り上げました。ChatGPT が当たり前となりつつある今、その活用方法なども紹介しました。

Nana 最後に、これから Further East に参加を希望の日本の旅行会社やホスピタリティ企業に、アドバイスをいただけますか。

Sophia 日本には美しいホテルが多くあり、革新そして伝統が共存しています。日本は素晴らしく多様な国なのに、あまり世界に知られていないような気がします。そこで、東京、京都、大阪以外の地域の認知度を高めることに力を入れてはいかがでしょうか。JNTO や東京コンベンションビューローと協力することで、各地域の良さをアピール出来ると思います。

Further East が日本の旅行業界やホスピタリティに携わる方々のビジネスを向上させ、皆様にとって世界中からふさわしいトラベラーを呼び寄せる可能性を秘めた商談会であることを理解していただければと思います。

上記の記事やインタビューの完全版（日・英）及び関連写真は、Hoteres Online で紹介しています。

